

# HAWKS ベースボールパーク筑後

HAWKS Baseball Park CHIKUGO

No. 12-047-2017作成

新築  
その他

発注者	福岡ソフトバンクホークス株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計	大成建設株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
監理	株式会社 久米設計	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		
施工	大成建設株式会社					

## 地域に新しい息吹をもたらし、地域環境に根ざすベースボールパーク

### 設計主旨

2016年3月、福岡県筑後にプロ野球球団、福岡ソフトバンクホークスの新しいファーム施設が、地域との交流、選手の育成を目的として整備された。福岡市内から新幹線で30分以内の地で、周辺には広大な田園風景が広がる。地域に新しい息吹が生まれるスポーツ施設として観客3,000人収容のメインスタジアム、クラブハウス、選手寮、屋内練習場、練習用のサブスタジアムを計画するにあたり、筑後の大地がおりなす景観との調和をはかり、地域住民の生活との共存に配慮した。



鳥瞰写真

### 背景の田園風景へ溶け込むスタジアム

斜めに折れた壁によってフィールドへの求心性と大地への広がり表現した。外野フェンスとなる垂直壁は最低限の高さとし、スタンドの斜め壁が外野フェンスに向かって折れながら徐々に低い壁となり、背景の田園に溶けこむ。田園を背景として、のびのびと野球を楽しむという牧歌的な風景を生み出している。

### 田園と調和するすだれ外壁の選手寮

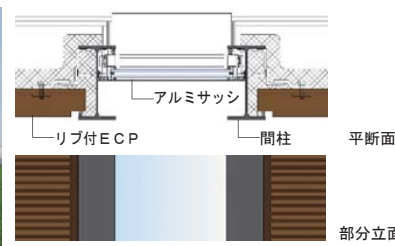
寮は、象徴的なフレーム壁によって強いチームの領域を形成し、かつ、フレームにすだれのような外壁を垂らす事で、周囲の田園風景と調和させた。リブ付ECPの間柱を、外に出し、深い抱きとエッジの薄さで、田園の風になびくかのような軽やかなすだれの表現を実現した。



田園を背景とした観戦風景



田園と調和するすだれ外壁の選手寮



すだれ外壁のディテール

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	PAL削減 57 %	Aランク	
竣工年	ERR (CASBEE準拠) 10 %	BEE=1.6	
敷地面積	LCCO <sub>2</sub> 削減 9 %	2014年度版	
敷地面積		自己評価	

### 田園への風の抜けと光害対策

ボールパークの計画は、地域に賑わいをもたらす一方で、田園に対しては風の抜けを阻害しないことと、ナイター照明の光害について十分配慮する必要があった。風については、スタジアムの屋根形状を制流フィンとして機能するよう工夫し、観客席への通風・田園への風の抜けについて配慮した。照明については、事前にシミュレーションを行い、投光器1灯ごとに向きを設定した。施工時においても鉄塔地組時におおよその向きを設定し、さらに鉄塔据付後、レーザーを用いて1灯ごとにシミュレーション通りの方向となるよう向きを微調整した。

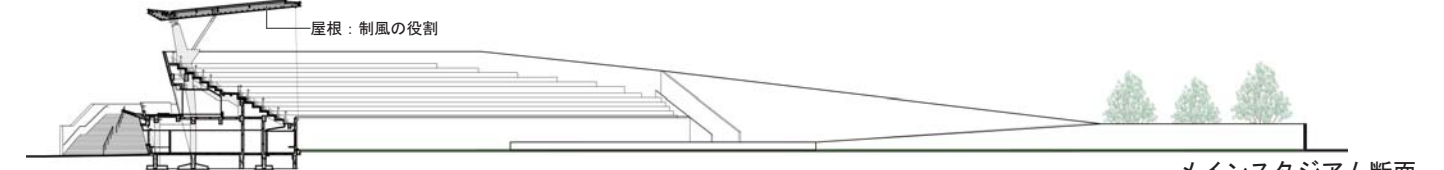


制風板となる屋根

配光調整

照度分布シミュレーション

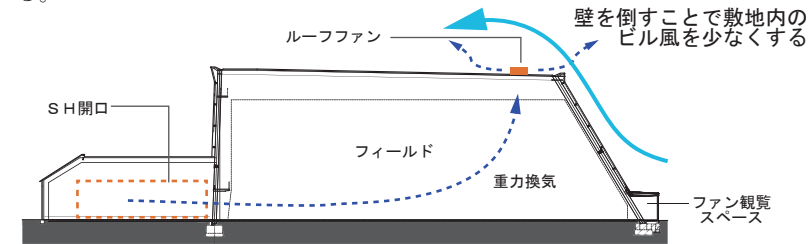
完成時に上空から確認



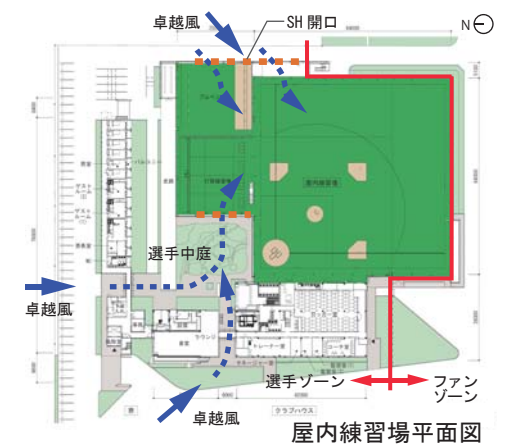
メインスタジアム断面

### 屋内練習場の自然通風 - 選手のプライバシーと風の通り道

大空間となる屋内練習場は省エネに配慮して空調を行わず、自然通風とルーフファンを用いた重力換気により快適な練習環境を確保した。給気にはシャッターによる大開口が必要となるが、選手専用ゾーンに配置することで、プライバシーの確保と大規模な給気量の確保を両立した。隣接するクラブハウスや寮には風の抜け道となる開放コリドーを設け、北側が主となる卓越風を効率よく取込む計画とした。また、屋内練習場の斜めに倒れた壁は、敷地内のビル風を少なくするのに寄与している。



屋内練習場断面図



屋内練習場平面図

### チューブ状の深い庇により日射制御し選手のプライバシーを守る

クラブハウスは、チューブ状の壁・屋根によって約40mの無柱空間を創り、深い庇空間を実現した。前庭の樹木とともに日射制限を行い、かつ開放感の中に選手のプライバシーを守っている。

### 寮室への西日を制御する有孔折板のカーテン

寮のバルコニーには室外機の目隠しとして千鳥状に有孔折板を配置した。縦方向の折目を持つ有孔折板が西日を効果的に遮り、かつ風は通すことで快適な寮室の居住環境を確保した。軽やかなカーテンのようにも見える有孔折板は見た目にも涼しさを演出している。

### 設計担当者

建築：川野久雄、武市章平、田澤孝祐／構造：島村高平、寺嶋知宏、小野森司、坂口裕美、川村学、花里紗知穂／設備：梶山隆史、星野亮、安藤直也／電気：梶山隆史、近森真洋、有馬京吾／外構：山下剛史、木川薫



チューブ状ファサードのクラブハウス



有孔折板のカーテン

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (田園風景との調和)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (提供公園)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (庇の深い外装)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (卓越風を利用した自然換気)
- LR3. 3. 周辺環境への配慮 (田園への光害抑制)